

瑞穂市都市計画審議会

<議題>

(1) 瑞穂市都市計画マスタープランの改定(素案)
について

1. 修正の基本的な考え方
2. 全体構想における修正事項
3. 地域別構想における修正事項

1. 修正の基本的な考え方

審議会でのご意見に基づき、つぎの内容をふまえ、修正を行いました。

- **市民にわかりやすく**

- ⇒都市拠点、地域生活拠点等の各拠点の定義の追加
- ⇒各地域の人口等の修正・追加
- ⇒地域ごとの重点施策の進め方の追加

- **地域の意見の確認**

- ⇒市民アンケート調査結果の再確認及び表現・内容等の修正
- ⇒地域づくりの主要課題、重点施策等の再確認及び表現・内容等の修正・追加

- **地域づくりの方針の見直し**

- ⇒地域づくりの方針の表現・内容を再確認し、方針及び位置づけを修正

2. 全体構想における修正事項

● 各拠点の定義の追加 ⇒P28

4つの視点それぞれで展開した将来都市構想について、総括(統合)すると、次ページの図のとおりとなります。

また、瑞穂市第2次総合計画に基づく各種拠点については、これを踏まえつつ、本マスタープランにおいて、以下のようにその位置と方向性について定義します。

都市拠点	
位置	JR穂積駅周辺
方向性	●公共交通（JR・バス）の要を担い、多様な都市機能（商業機能、医療・福祉機能、金融機能、行政機能等）が集積した拠点とします。

地域生活拠点	
位置	馬場交差点周辺、十九美駅周辺、犀川地区周辺、国道21号沿道周辺、奥南庁舎周辺、朝日大学周辺
方向性	●公共交通ネットワーク（バス、樽見鉄道）との連携を踏まえた、一定の都市機能が集積した拠点とします。 ●国道21号沿道周辺については、国道21号と市道西部環状線のネットワークを担う重要な拠点とします。 ●朝日大学周辺については、周辺に居住する学生等若者が魅力を感じる学園都市として位置づけます。

学術研究拠点	
位置	朝日大学周辺
方向性	●朝日大学周辺を中心に、大学及び産院等による学術研究機能と連携した先端産業が集積した拠点とします。

交流拠点	
位置	公園・グラウンド、歴史・文化施設等
方向性	●歴史や文化資源を活かした、市民がスポーツやレクリエーション等を楽しむことができる拠点とします。 ○健康づくり拠点…公園・グラウンド等市民の健康づくりを支える拠点 ○市民交流拠点…中・大規模な公園を中心とした、スポーツ、レクリエーション、文化活動の場となる拠点 ○歴史・文化交流拠点…中山道・美江寺等の歴史的な建造物や街並み、それらを舞台とした祭りや活動の場となる拠点

拠点の定義

図 将来都市構想（総括）



3. 地域別構想における修正事項 生津地域

・各地域の人口等の修正・追加 ⇒P59

第7章 生津地域のまちづくり構想

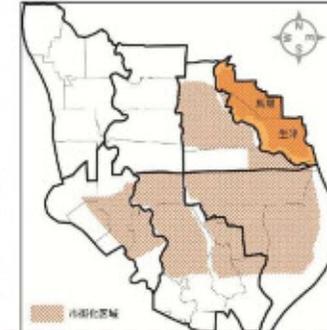
7-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

- ・市北東部に位置し、馬場及び生津地区が該当します。
- ・長良川と糸織川に挟まれた位置にあり、東部には天王川が流れています。
- ・鉄道はなく、主要な道路としては、主要地方道北方多度線、主要地方道岐阜県南大野線が通っています。
- ・バスは、岐阜バス（美江寺・穂積線、大野・穂積線）、みずほバス（本田・志保線）が通っています。

図 地域の位置



人口等の
修正・追加

〈面積及び人口〉

- ・平成27年の人口は、5,530人（市全体の10.2%）で、平成22年～27年の人口増減は、501人の増（10.0%増加）と、市平均増加率（4.6%）より増加率が高い地域です。
- ・平成27年の高齢者数は、888人（市全体の8.4%）で、高齢化率は16.1%と、市平均（19.4%）より低い地域です。
- ・平成27年の世帯数は、2,056世帯（市全体の9.8%）で、世帯人員は2.69人/世帯と、市平均（2.59人/世帯）より多くなっています。
- ・面積は約190haと最も小さい地域ですが、全域が都市計画区域に指定され、市街化区域の占める割合が、約75%と高くなっています。

〈土地利用等の現況〉

- ・ほぼ全域で土地区画整理事業が実施されたことから、他地域に比べ市街化が進展しており、都市基盤の整備水準も高くなっています。
- ・主要地方道北方多度線や主要地方道岐阜県南大野線等の幹線道路沿道には、商業施設、工場、運輸倉庫施設等が建ち並び、天王川周辺にも工場が立地するなど、産業機能の集積が進んでいます。

3. 地域別構想における修正事項 生津地域

- 市民アンケート調査結果の再確認及び表現・内容等の修正
- 地域づくりの主要課題・地域づくりの方針を分かりやすく ⇒P60,61

• 地域の南東では、住宅建設が進み、住商工の土地利用が混在しています。

【都市施設等の現況】

- 都市計画道路は、3路線全ての整備が完了しています。また、都市計画公園は、馬場公園など9箇所全ての整備が完了しています。
- 下水道は未整備で、公共下水道による整備が計画されています。
- 主な公共施設としては、生津小学校、生津スポーツ広場、馬場公園等が位置しています。
- 面的整備が広範囲で実施され、幹線道路沿道は準防火地域に指定されています。
- 多くの河川が流れており、良好な自然環境が保たれています。

【市民アンケート調査結果】(瑞穂市第2次)

- 定住意向は84.4%です。
- 定住したい理由では、「買い物や外食が便利」が最も多く挙げられています。
- 定住したくない理由では、「まちに愛着がない」という意見が多くなっています。今後の重点施策としては、下記の事項などを重視する意見が多くなっています。

医療・福祉・介護の充実
道路・公園・下水道などの公共インフラ整備
機能的な都市空間の創出

現状の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

- 働く場や地域経済を支える工場・事業所が少ない
- 子育て・医療・福祉など、暮らしに欠かせない生活利便施設が少ない

将来の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

- 道路、公園、上下水道などの整備を進め、良好な住環境を形成する
- 空地や未利用地などの有効利用を促進する

市民アンケート調査結果

- 低未利用地や幹線道路沿道等の計画的な活用による高工業系土地利用の一層の充実
- まちの環境悪化を招く、空き家や耕作放棄地の適正な管理・運用
- 都市施設（道路、公園・緑地）の適正な維持・管理、防災機能の充実
- 公共下水道の着実な推進
- 生活道路や公共施設、学校等の周辺における歩行空間の整備など、安全な交通環境の形成
- 公共交通（バス）の充実とまちづくり施策（集約型都市構造）との連携
- 河川の自然・親水環境の保全・活用（公園、散策路等）、治水対策の推進
- 地域の自然環境、歴史・文化等と調和し、定住・交流を促す魅力的な都市景観の形成
- 巨大地震や集中豪雨による甚大な被害に備えた、減災を考慮した地域づくり（災害に強い市街地整備、都市基盤の防災機能強化等）
- 地域コミュニティの形成（世代間交流）、地域活動の活性化（防災活動、祭り等）、交流の場の形成

都市全体の共有の主要課題

2. 地域づくりの主要課題

- 【地域特有の主要課題】
- 馬場交差点周辺における生活に身近な商業・サービス施設、医療・福祉施設等の維持・誘導・集積
 - 住宅主体の良好な市街地環境の維持・保全
 - 住工混在地における地域特性に応じた用途の見直しや住環境と作業環境の調和
 - 河原宿（岐阜市）等、中山道の往時をしのばせる集落環境（街並み）と連携したまちづくり
 - 地域の個性・魅力を形成する地域資源の発掘・活用
- 【都市全体の共有の主要課題】
- 高齢化に配慮した都市基盤等の整備

地域特有の主要課題

3. 全体構想での代表的な位置付け

- 地域生活拠点：馬場交差点周辺地区
- 交流拠点（健康づくり、市民交流）：馬場公園、生津スポーツ広場、系貫川
- 交流拠点（歴史・文化交流）：河原宿（岐阜市）
- 産業集積軸：主要地方道北方多度線、主要地方道北方多度線

地域づくりの方針

7-2 地域づくりの方針

- 充実した都市基盤を活かした産業と住宅地が共生した利便性の高い地域づくり**
- ◆馬場交差点周辺において、生活に身近な商業・サービス施設、医療・福祉施設等を維持、不足等が生じた場合には集積し、利便性の高い地域生活拠点の形成を図ります。
 - ◆幹線道路沿道において、交通利便性の高さを活かした産業（商業、工業、流通・業務等）の積極的な誘導により、産業機能のより一層の強化を図ります。
 - ◆都市基盤の整備、長良川、系貫川等の自然環境の保全・活用や市街地の緑化を推進し、良好な住環境の形成を図ります。

3. 地域別構想における修正事項 生津地域

• 地域ごとの重点施策の進め方の追加 ⇒P64

〈地域重点施策の進め方〉

土地の有効・高度利用	地域生活拠点の形成
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、事業者等とともに土地利用の規制・誘導の必要性の検討・方策等の作成 ▼ ・土地利用のルール化に向けた都市計画法等に基づく手続きの推進 ・現状の生活利便施設が不足している場合などにおいては、適宜充足するための誘導方策等の検討・実施 ▼ ・地域住民、事業者等による土地の有効・高度利用の実施、地域生活拠点の維持・活用 	
主要地方道北方多度線の交差点改良や歩道の整備	
<ul style="list-style-type: none"> ・主要地方道北方多度線のアクセス性の向上や安全な歩行空間の確保に向けた検討 ▼ ・計画に基づく交差点の改良や歩行空間の確保の実施 	
中山道の歩行空間の整備	
<ul style="list-style-type: none"> ・中山道の整備計画の検討・作成 ▼ ・地域住民等とともに、同計画に基づく交通規制等を含めた歩行空間の確保・整備 	
耐震化の促進	
<ul style="list-style-type: none"> ・主要地方道北方多度線の沿線における耐震診断の実施及び実施に向けた啓蒙活動 ▼ ・地域住民等による主要地方道北方多度線沿線の耐震化の促進 	
河川整備	河川環境（桜並木・緑地）の保全、親水空間の整備（散策路等）
<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づく河川整備の促進 ▼ ・河川の環境保全・活用等の検討、方策等の作成・実施 	

上記の重点施策に加え、地域全般に関する施策についても、「個別計画の作成」、「関係者との協議・合意等」及び「計画に基づく整備の実施」を順次進めていき、地域づくりの方針及び都市全体の将来像の実現を目指します。

地域重点施策の
進め方

第8章 本田地域のまちづくり構想

8-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

- ・市北東部に位置し、本田及び只越地区が該当します。
- ・糸貫川と五六川に挟まれた位置にあり、東側には中川が流れています。
- ・鉄道は通っていませんが、只越地区はJR穂積駅に近接しています。
- ・主要な道路としては、主要地方道北方多度線、主要地方道岐阜県南人野線、市道本田別府線が通っています。
- ・バスは、岐阜バス（美江寺・穂積線、大野・穂積線）、みずほバス（本田・唐栗線）が通っています。

図 地域の位置

〈面積及び人口〉

- ・平成27年の人口は、8,525人（市全体の15.7%）で、平成22年～27年の人口増減は、597人の増（7.5%増加）と、市平均増加率（4.6%）より増加率が高い地域です。
- ・平成27年の高齢者数は、1,972人（市全体の18.7%）で、高齢化率は23.1%と、市平均（19.4%）より高い地域です。
- ・平成27年の世帯数は、3,064世帯（市全体の14.6%）で、世帯人員は2.78人/世帯と、市平均（2.59人/世帯）より多くなっています。
- ・面積は約304haで、全域が都市計画区域に指定され、市街化区域が約64%を占めています。

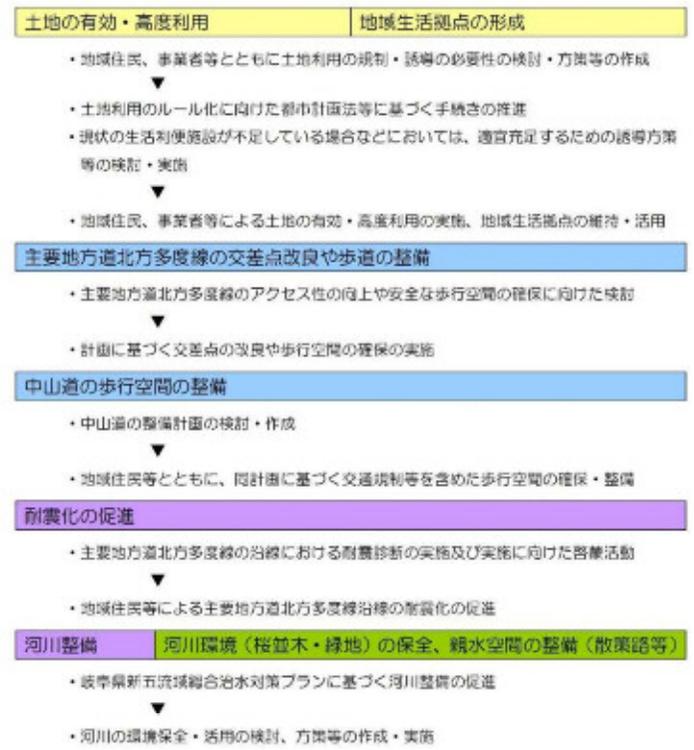
〈土地利用等の現況〉

- ・北部と南部は、田園地帯が広がるなど自然環境が豊かで、近年は人口流入が著しく、点的な住宅建設が進んでいます。

3. 地域別構想における修正事項 本田地域

・各地域の人口等の修正・追加 ⇒P65

〈地域重点施策の進め方〉



上記の重点施策に加え、地域全般に関する施策についても、「個別計画の作成」、「関係者との協議・合意等」及び「計画に基づく整備の実施」を順次進めていき、地域づくりの方針及び都市全体の将来像の実現を目指します。

第8章 本田地域のまちづくり構想

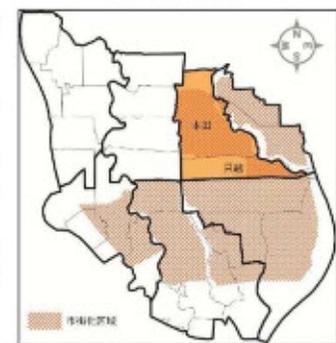
8-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

- ・市北東部に位置し、本田及び只越地区が該当します。
- ・糸貫川と五六川に挟まれた位置にあり、東側には中川が流れています。
- ・鉄道は通っていませんが、只越地区はJR穂積駅に近接しています。
- ・主要な道路としては、主要地方道北方多度線、主要地方道岐阜県南入野線、市道本田別府線が通っています。
- ・バスは、岐阜バス（美江寺・穂積線、大野・穂積線）、みずほバス（本田・唐栗線）が通っています。

図 地域の位置



人口等の修正・追加

〈面積及び人口〉

- ・平成27年の人口は、8,525人（市全体の15.7%）で、平成22年～27年の人口増減は、597人の増（7.6%増加）と、市平均増加率（4.6%）より増加率が高い地域です。
- ・平成27年の高齢者数は、1,972人（市全体の18.7%）で、高齢化率は23.1%と、市平均（19.4%）より高い地域です。
- ・平成27年の世帯数は、3,064世帯（市全体の14.6%）で、世帯人員は2.78人/世帯と、市平均（2.59人/世帯）より多くなっています。
- ・面積は約304haで、全域が都市計画区域に指定され、市街化区域が約64%を占めています。

〈土地利用等の現況〉

- ・北部と南部は、田園地帯が広がるなど自然環境が豊かで、近年は人口流入が著しく、点的な住宅建設が進んでいます。

3. 地域別構想における修正事項 本田地域

- 市民アンケート調査結果の再確認及び表現・内容等の修正
- 地域づくりの主要課題・地域づくりの方針を分かりやすく ⇒P66,67

・市道本田別府線沿道に小規模な商業施設、各所に大小さまざまな規模の工場が点在しています。他地域に比べ、商工業施設は少ない状況です。

・商業部のJR穂積駅に近い地域には住宅地が形成されていますが、駐車場などの低未利用地も多い状況です。

・本田団地によって、一団の住宅団地が形成されています。

〈都市施設等の現況〉

・都市計画道路は、3路線全ての整備が完了しています。都市計画公園はなく、せせらぎ公園のほか、小規模な公園がいくつか整備されています。

・下水道は未整備で、公共下水道による整備が計画されています。

・主な公共施設としては、本田小学校、穂積北中学校、本田コミュニティセンター等が位置しています。

・面的整備は、本田団地が整備されています。

・JR穂積駅周辺の市街地は、狭あい道路や木造住宅が密集しており、災害の危険度が高くなっています。また、JR穂積駅周辺及び幹線道路沿道は準防火地域に指定されています。

・多くの河川が流れ、良好な自然環境・親水環境を有しています。

〈市民アンケート調査結果〉(穂積市第2次総合計画より)

・定住意向は80.2%です。

・定住したい理由では、「交通の便が良い」という意見が多くなっています。

・定住したくない理由でも、「交通の便が良い」という意見が多くなっていますが、市平均より低くなっています。その他の理由としては、「災害や水害による危険性が高い」が多くなっています。

今後の重点施策としては、下記の事項などを重視する意見が多くなっています。

医療・福祉・介護の充実
道路・公園・下水道などの公共インフラ整備

都市全体の共有の主要課題

市民アンケート調査結果

【都市全体の共有の主要課題】

・低未利用地の計画的な活用(土地区画整理事業等)による住宅主体の良好な市街地環境の形成
・まちの環境悪化を招く、空家や耕作放棄地の適正な管理・運用
・無秩序な市街地の拡大の抑制と多面的機能(食料生産・防災・景観形成)を考慮した農地の計画的保全
・都市施設(道路・公園・緑地、公共下水道等)の整備推進、防災機能の充実
・生活道路や公共施設、学校等の周辺における歩行空間の整備等、安全な交通環境の形成
・公共交通(バス)の充実とまちづくり施策(集約型都市構造)との連携
・河川の自然・親水環境の保全・活用(公園、散策路等)、治水対策の推進
・地域の自然環境、歴史・文化等と調和し、定住・交流を促す魅力的な都市景観の形成
・巨大地震や集中豪雨による甚大な被害に備えた、減災を考慮した地域づくり(災害に強い市街地整備、都市基盤の防災機能強化等)
・地域コミュニティの形成(世代間交流)、地域活動の活性化(防災活動、祭り等)、交流の場の形成

3. 全体構想での代表的な位置付け

- 都市拠点：JR穂積駅周辺地区
- 交流拠点(健康づくり、市民交流)：せせらぎ公園
- 産業集積地：主要地方道北方多度線、主要

地域づくりの方針

8-2 地域づくりの方針

歴史・自然と調和し、良好な都市基盤を備えた地域づくり

- ◆五六川、糸貫川等の河川、中山道の往時をしのばせる街並みなどを活用し、地域の魅力向上と活性化を図ります。
- ◆JR穂積駅周辺、主要地方道岐阜県南大野線などの幹線道路沿道における商業・サービス施設、医療・福祉施設等の集積により、人口増加に対応した生活利便性の向上を図ります。
- ◆多面的機能を有する農地や河川等の自然環境に配慮した、低未利用地の計画的な活用により、良好な都市基盤を備えた住宅地の形成を図ります。

地域特有の主要課題

【地域特有の主要課題】

・高齢化に配慮した都市基盤等の整備
・JR穂積駅周辺における都市拠点にふさわしいまちづくりの推進(都市機能の維持・集積、土地の高度利用、交通結節点としての機能向上等)
・幹線道路沿道などにおける生活に身近な商業・サービス施設、医療・福祉施設等の維持・誘導・集積
・本田延命地蔵など、中山道の往時をしのばせる集落環境(街並み)の保全・活用
・田園風景の保全・活用

3. 地域別構想における修正事項 本田地域

・地域ごとの重点施策の進め方の追加 ⇒P70

〈地域重点施策の進め方〉

交通結節機能の強化 都市拠点の形成 市街地の防災性の向上 土地の有効・高度利用

- ・公共交通グランドデザインの検討・作成
- ▼
- ・公共交通事業者等とともに地域公共交通形成計画の検討・作成
- ▼
- ・地域住民、公共交通事業者及び市により、同計画に基づく当該地域での公共交通施策の検討・実施

・JR穂積駅周辺整備構想の検討・作成

- ▼
- ・地域住民、地権者等とともにJR穂積駅周辺整備に向けた具体事業の計画検討・作成及び土地利用の規制・誘導の必要性の検討・作成
- ▼
- ・地域住民等とともにJR穂積駅周辺整備の実施
- ▼
- ・地域住民、事業者等による市街地の防災性の向上及び土地の有効・高度利用の実施

中山道の歩行空間の整備

- ・中山道の整備計画の検討・作成
- ▼
- ・地域住民等とともに、同計画に基づく交通規制等を含めた歩行空間の確保・整備

土地区画整理事業等による計画的な市街地整備

- ・地域住民・権利者等とともに事業化に向けた合意形成、計画の検討・作成
- ▼
- ・計画の実現化に向けた事業計画の手続きの推進
- ▼
- ・市街地整備事業の実施

河川整備 河川環境（桜並木・緑地）の保全、親水空間の整備（散策路等）

- ・岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づく河川整備の促進
- ▼
- ・河川の環境保全・活用の検討、方策等の作成・実施

第9章 穂積地域のまちづくり構想

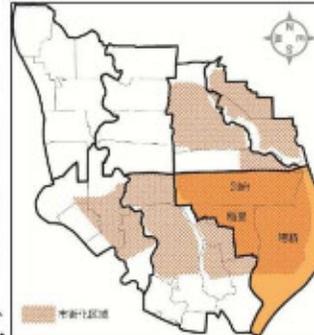
9-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

市東部に位置し、別府、稲里及び穂地区が該当します。奥川と五六川に挟まれた位置にあり、中央に中川が流れています。北部にJR東海道本線が通っており、JR穂積駅が位置しています。主要な道路としては、国道21号、主要地方道北方多度線が通っており、交通の便が良い地域です。また、岐阜南部横断ハイウェイの整備構想があります。バスは、岐阜バス（大野・穂積線）、みずほバス（本田・唐菜線、十九条・古橋線、牛牧・穂積線）が通っています。

図 地域の位置



〈面積及び人口〉

- ・平成27年の人口は、14,535人（市全体の26.7%）で、最も人口が多い地域ですが、平成22年～27年の人口増減は、287人の増（2.0%増加）となっています。
- ・平成27年の高齢者数は、2,864人（市全体の27.1%）で、高齢化率は19.7%と、市平均（19.4%）と同程度の地域です。
- ・平成27年の世帯数は、6,394世帯（市全体の30.4%）で、市内で最も世帯数が多い地域ですが、世帯人員は2.27人/世帯と、市平均（2.59人/世帯）より少なくなっています。
- ・面積は約588haと市内で最も大きく、全域が都市計画区域に指定され、市街化区域の占める割合も、約70%と高くなっています。

〈土地利用等の現況〉

- ・JR穂積駅周辺は市街化が進んでおり、住宅や小規模な商業施設が集積していますが、駐車場などの低未利用地も多く、商業用地の減少が目立っています。

地域重点施策の進め方

上記の重点施策に加え、地域全般に関する施策についても、「個別計画の作成」、「関係者との協議・合意等」及び「計画に基づく整備の実施」を順次進めていき、地域づくりの方針及び都市全体の将来像の実現を目指します。

3. 地域別構想における修正事項 穂積地域

・各地域の人口等の修正・追加 ⇒P71

〈地域重点施策の進め方〉

交通結節機能の強化 都市拠点の形成 市街地の防災性の向上 土地の有効・高度利用

- ・公共交通グランドデザインの検討・作成
- ▼
- ・公共交通事業者等とともに地域公共交通形成計画の検討・作成
- ▼
- ・地域住民、公共交通事業者及び市により、同計画に基づく当該地域での公共交通施策の検討・実施

JR穂積駅周辺整備構想の検討・作成

- ・地域住民、地権者等とともにJR穂積駅周辺整備に向けた具体事業の計画検討・作成及び土地利用の規制・誘導の必要性の検討・作成
- ▼
- ・地域住民等とともにJR穂積駅周辺整備の実施
- ・地域住民、事業者等による市街地の防災性の向上及び土地の有効・高度利用の実施

中山道の歩行空間の整備

- ・中山道の整備計画の検討・作成
- ▼
- ・地域住民等とともに、同計画に基づく交通規制等を含めた歩行空間の確保・整備

土地区画整理事業等による計画的な市街地整備

- ・地域住民・権利者等とともに事業化に向けた合意形成、計画の検討・作成
- ▼
- ・計画の実現化に向けた事業計画の手続きの推進
- ▼
- ・市街地整備事業の実施

河川整備 河川環境(桜並木・緑地)の保全、親水空間の整備(敷設路等)

- ・岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づく河川整備の促進
- ▼
- ・河川の環境保全・活用の検討、方策等の作成・実施

上記の重点施策に加え、地域全般に関する施策についても、「個別計画の作成」、「関係者との協議・合意等」及び「計画に基づく整備の実施」を順次進めていき、地域づくりの方針及び都市全体の将来像の実現を目指します。

第9章 穂積地域のまちづくり構想

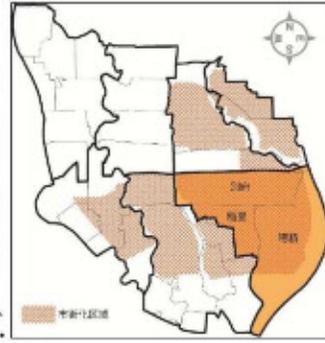
9-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

- ・市東部に位置し、別府、稲里及び穂積地区が該当します。
- ・長良川と五六川に挟まれた位置にあり、中央に中川が流れています。
- ・北部にJR東海道本線が通っており、JR穂積駅が位置しています。
- ・主要な道路としては、国道21号、主要地方道北方多摩線が通っており、交通の便が良い地域です。また、岐阜南部横断ハイウェイの整備構想があります。
- ・バスは、岐阜バス(大野・穂積線)、みずほバス(本田・唐菜線、十九条・古橋線、牛牧・穂積線)が通っています。

図 地域の位置



人口等の修正・追加

〈面積及び人口〉

- ・平成27年の人口は、14,535人(市全体の26.7%)で、最も人口が多い地域ですが、平成22年～27年の人口増減は、287人の増(2.0%増加)となっています。
- ・平成27年の高齢者数は、2,864人(市全体の27.1%)で、高齢化率は19.7%と、市平均(19.4%)と同程度の地域です。
- ・平成27年の世帯数は、6,394世帯(市全体の30.4%)で、市内で最も世帯数が多い地域ですが、世帯人員は2.27人/世帯と、市平均(2.59人/世帯)より少なくなっています。
- ・面積は約588haと市内で最も大きく、全域が都市計画区域に指定され、市街化区域の占める割合も、約70%と高くなっています。

〈土地利用等の現況〉

- ・JR穂積駅周辺は市街化が進んでおり、住宅や小規模な商業施設が集積していますが、駐車場などの低未利用地も多く、商業用地の減少が目立っています。

3. 地域別構想における修正事項 穂積地域

- 市民アンケート調査結果の再確認及び表現・内容等の修正
- 地域づくりの主要課題・地域づくりの方針を分かりやすく ⇒P72,73

・国道 21 号や主要地方道北方多度線等の幹線道路沿道には、大規模商業施設が建ち並び、工場跡地には新たな複合型商業施設が立地するなど、沿道利用が進んでいます。また、沿道開発に伴い、周辺では、住宅建設が進んでいます。

・西部の国道 21 号や J R の沿線には、大小さまざまな規模の工場が集積しており、周辺では住工が混在した土地利用がみられます。

・南部は、優良農地が広がるなど、豊かな自然環境が残っています。

〈都市施設等の現況〉

・都市計画道路は、7 路線全ての整備が完了しています。都市計画公園はなく、柳一色公園のほか、小規模な公園がいくつか整備されています。

・下水道は、別府地区でコミュニティ・プラントが整備されていますが、その他の地区は未整備で、公共下水道による整備が計画されています。

・主な公共施設としては、市役所、総合センター、保健センター、市民センター、図書館等、多数の施設が位置し、本市の中心的な機能を有しています。そのほか、穂積小学校、穂積中学校、朝日大学が位置しています。

・ J R 穂積駅周辺の市街地は、狭あい道路や木造住宅が密集しており、災害の危険性が高くなっています。また、 J R 穂積駅周辺及び幹線道路沿道は準防火地域に指定されています。

・多くの河川が流れ、良好な自然環境・親水環境を有していますが、過去に浸水による大きな被害を受けるなど、水害の危険性が非常に高い地域です。

〈市民アンケート調査結果〉(穂積)

・定住意向は 78.7%です。

・定住したい理由では、「交通の便がよい」が最も多い理由です。

・定住したくない理由では、「近隣の環境がよい」という意見が多くなっています。

・今後の重点施策としては、下記の事項などを重視する意見が多くなっています。

医療・福祉・介護の充実
高齢者対策
道路・公園・下水道などの公共インフラ整備
防災対策

・現状の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

公園など憩いの場が少ない
働く場や地域経済を支える工場・事業所が少ない

・将来の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

穂積駅周辺のぎわいを創出する
道路、公園、上下水道などの整備を進め、良好な住環境を形成する

市民アンケート調査結果

地域特有の主要課題

都市全体の共有の主要課題

地域づくりの方針

持・誘導・集積に加え、地域生活に身近な商業・サービス施設についても維持・誘導・集積

・住工混在地における地域特性に応じた用途混在の解消や住環境と操業環境の調和

〔都市全体の共有の主要課題〕

・高齢化に配慮した都市基盤等の整備
・低未利用地や幹線道路沿道等の計画的な活用による商業系土地利用の一層の充実
・まちの環境悪化を招く、空家や耕作放棄地の適正な管理・運用
・無秩序な市街地の拡大の抑制と多面的機能（食料生産・防災・景観形成）を考慮した農地の計画的保全
・都市間・拠点間をつなぐ利便性の高い幹線道路ネットワークの強化
・都市施設（道路、公園・緑地、公共下水道等）や市街地整備（土地区画整理事業など）の整備推進、防災機能の充実による安全で良好な住環境の形成
・生活道路や駅、公共施設、学校等の周辺における歩行空間の整備など、安全な交通環境の形成
・公共交通（バス）の充実とまちづくり施策（集約型都市構造）との連携
・河川の自然・親水環境の保全・活用（公園、散策路等）、治水対策の推進
・地域の自然環境、歴史・文化等と調和し、定住・交流を促す魅力的な都市景観の形成
・巨大地震や集中豪雨による甚大な被害に備えた、減災を考慮した地域づくり（災害に強い市街地整備、都市基盤の防災機能強化等）
・地域コミュニティの形成（世代間交流）、地域活動の活性化（防災活動、祭り、イベント等）、交流の場の形成

3. 全体構想での代表的な位置付け

- ・都市拠点： J R 穂積駅周辺地区
- ・生活拠点、学術研究拠点：朝日大学周辺地区
- ・交流拠点（市民交流）：朝日大学グラウンド
- ・交流拠点（歴史・文化交流）：豊原一夜城（大垣市）
- ・商業集積：国道 21 号、主要地方道北方多度線
- ・主要防災活動拠点：市役所

9-2 地域づくりの方針

まちの顔として多様な都市機能が集積した、賑わいと交流が生まれる地域づくり

- ◆ J R 穂積駅周辺において、まちの顔としてふさわしい都市機能の集積、交通結節機能の強化、都市空間整備を推進し、多様な交流を促進します。
- ◆ 交通利便性の高さを活かし、国道 21 号や主要地方道北方多度線などの幹線道路沿道において、都市活力の向上に資する産業（商業、工業、流通・業務等）の集積を図ります。
- ◆ 都市基盤（公園・緑地、下水道等）の整備推進や、用途混在の解消や操業環境との調和、市街地の防災性の向上により、安全で快適な住環境への改善を推進します。

3. 地域別構想における修正事項 穂積地域

・地域ごとの重点施策の進め方の追加 ⇒P76

〈地域重点施策の進め方〉

交通結節機能の強化 都市拠点の形成 市街地の防災性の向上 土地の有効・高度利用

- ・公共交通グランドデザインの検討・作成
- ・公共交通事業者等とともに地域公共交通網形成計画の検討・作成
- ・地域住民、公共交通事業者及び市により、同計画に基づく当該地域での公共交通施策の検討・実施
- ・JR穂積駅周辺整備構想の検討・作成
- ・地域住民、事業者等とともにJR穂積駅周辺整備に向けた具体事業の計画検討・作成及び土地利用の規制・誘導の必要性の検討・作成
- ・地域住民等とともにJR穂積駅周辺整備の実施
- ・地域住民、事業者等による市街地の防災性の向上及び土地の有効・高度利用の実施

岐阜南部横断ハイウェイ・国道21号の整備

- ・岐阜南部横断ハイウェイ・国道21号の計画の検討・作成
- ・計画に基づく路線設計及び整備の実施

主要地方道北方多度線の交差点改良や歩道の整備

- ・主要地方道北方多度線のアクセス性の向上や安全な歩行空間の確保に向けた検討
- ・計画に基づく交差点の改良や歩行空間の確保の実施

学術研究拠点の形成 土地の有効・高度利用

- ・学術研究拠点の充実に向けた事業者との協議・検討
- ・事業者及び周辺の地域住民等とともに土地利用の規制・誘導の必要性の検討・方策等の作成
- ・計画の実現化に向けた都市計画法等の手続きの推進
- ・事業者による学術研究拠点の整備の実施
- ・地域住民、事業者等による土地の有効・高度利用の実施

河川整備 河川環境（桜並木・緑地）の保全、親水空間の整備（散策路等）

- ・岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づく河川整備の促進
- ・河川の環境保全・活用の検討、方策等の作成・実施

防災活動拠点の防災機能の向上

- ・公共施設施設などの防災機能の検証
- ・公共施設施設などの防災機能向上に向けた整備の実施

上記の重点施策に加え、地域全般に関する施策についても、「個別計画の作成」、「関係者との協議・合意等」及び「計画に基づく整備の実施」を順次進めていき、地域づくりの方針及び都市全体の将来像の実現を目指します。

第10章 牛牧地域のまちづくり構想

10-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

本南部に位置し、十九条、牛牧、野新田、野白新田、祖父江、宝江及岸川地区が該当します。

川、中川、五六川、新堀川、宝江等、多く河川が集まる位置にあり、南部には岸川遊水地が整備されています。

・北部にJR東海本線が通っていますが、駅は立地していません。西部に樽見鉄道が通っており、十九条駅が立地しています。

・主要な道路としては、国道21号、主要地方道北方多度線、一般県道美江寺西結線が通っています。また、岐阜南部横断ハイウェイ構想があるほか、市道西部環状線の整備が進んでいます。

・バスは、みずほバス（十九条・古橋線、牛牧・穂積線）が通っています。

〈面積及び人口〉

- ・平成27年の人口は、12,144人（市全体の22.3%）で、平成22年～27年の人口増減は、662人の増（5.8%増加）と、市平均増加率（4.6%）より増加率が高い地域です。
- ・平成27年の高齢者数は、2,018人（市全体の19.1%）で、高齢化率は16.6%と、市平均（19.4%）より低い地域です。
- ・平成27年の世帯数は、4,967世帯（市全体の23.7%）で、世帯人員は2.44人/世帯と、市平均（2.59人/世帯）より低くなっています。
- ・面積は約559haで、全域が都市計画区域に指定され、市街化区域が約50%を占めています。

〈土地利用等の現況〉

- ・近年は人口流入が著しく、住宅建設など、宅地化が急速に進んでいます。
- ・国道21号周辺やJR東海道本線の北側では、幹線道路沿道を中心に大小さまざま

図 地域の位置

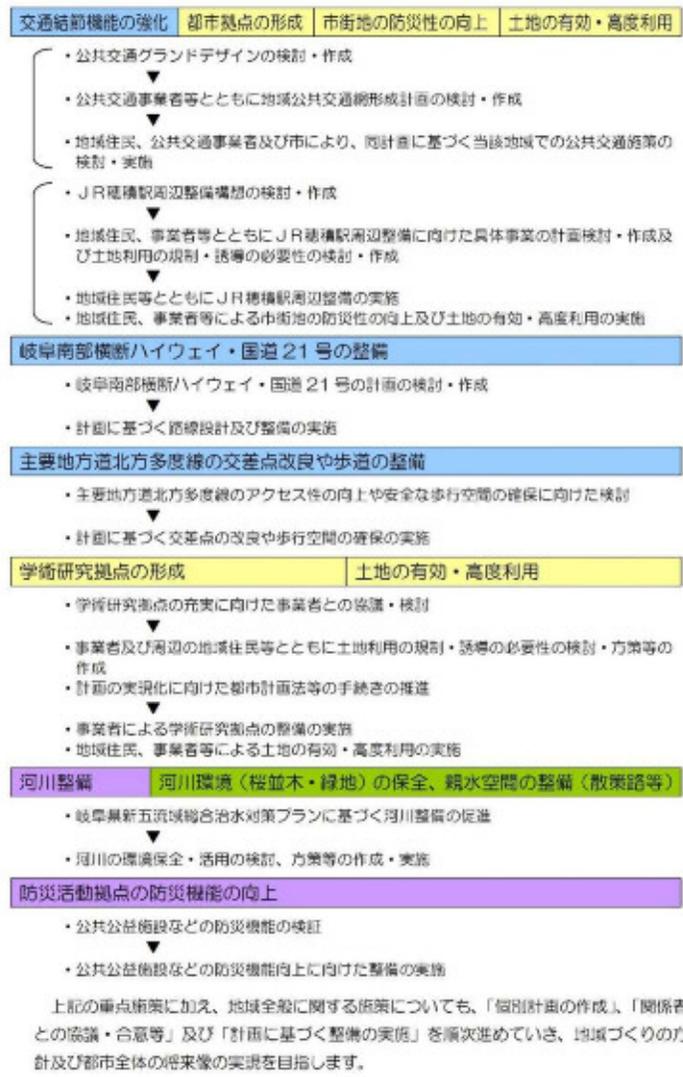
地域重点施策の進め方

- 76 -

3. 地域別構想における修正事項 牛牧地域

・各地域の人口等の修正・追加 ⇒P77

〈地域重点施策の進め方〉



人口等の修正・追加

第10章 牛牧地域のまちづくり構想

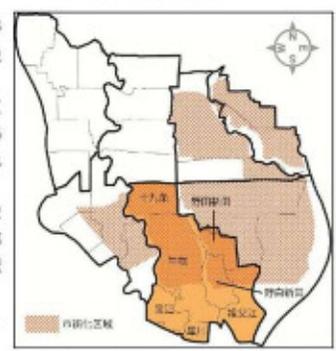
10-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

- ・市南部に位置し、十九条、牛牧、野田新田、野白新田、祖父江、宝江及び犀川地区が該当します。
- ・犀川、中川、五六川、新堀川、宝江川等、多く河川が集まる位置にあり、南部には犀川遊水地が整備されています。
- ・北部にJR東海道本線が通っていますが、駅は立地していません。西部に樽見鉄道が通っており、十九条駅が立地しています。
- ・主要な道路としては、国道21号、主要地方道北方多度線、一般県道美江寺西結線が通っています。また、岐阜南部横断ハイウェイ構想があるほか、市道西部環状線の整備が進んでいます。
- ・バスは、みずほバス（十九条・古橋線、牛牧・穂積線）が通っています。

図 地域の位置



〈面積及び人口〉

- ・平成27年の人口は、12,144人（市全体の22.3%）で、平成22年～27年の人口増減は、662人の増（5.8%増加）と、市平均増加率（4.6%）より増加率が高い地域です。
- ・平成27年の高齢者数は、2,018人（市全体の19.1%）で、高齢化率は16.6%と、市平均（19.4%）より低い地域です。
- ・平成27年の世帯数は、4,967世帯（市全体の23.7%）で、世帯人員は2.44人/世帯と、市平均（2.59人/世帯）より低くなっています。
- ・面積は約559haで、全域が都市計画区域に指定され、市街化区域が約50%を占めています。

〈土地利用等の現況〉

- ・近年は人口流入が著しく、住宅建設など、宅地化が急速に進んでいます。
- ・国道21号周辺やJR東海道本線の北側では、幹線道路沿道を中心に大小さまざまな

3. 地域別構想における修正事項 牛牧地域

- 市民アンケート調査結果の再確認及び表現・内容等の修正
- 地域づくりの主要課題・地域づくりの方針を分かりやすく ⇒P78,79

まな規模の商業施設や工場が立地しており、点在的な住宅開発の増加により、住
 商工の土地利用の混在が進んでいます。
 ・南部は、犀川の周辺に優良農地が広がるなど、自然環境が豊かです。
 ・新たな工場の建設が進んでいます。また、犀川周辺地区では土地区画整理事業が
 実施され、大規模商業施設の立地に伴う住宅建設が進んでいます。
 ・牛牧団地によって、一団の住宅団地が形成されています。

〈都市施設等の現況〉
 ・都市計画道路は、5路線が計画決定されていますが、一部区間を除き整備が完了
 しています。都市計画公園はありませんが、五六川親水公園、さい川さくら公園
 など大規模な公園が整備され、新たな公園の整備も進んでいます。
 ・下水道は未整備で、公共下水道による整備が計画されています。
 ・主な公共施設としては、牛牧小学校、牛牧北部防災コミュニティセンター、牛牧
 南部コミュニティセンターつづきの東等が位置しています。
 ・面的整備は、犀川沖外地の土地区画整理事業及び牛牧団地が整備されています。
 ・市街化が進行中ですが、一部に狭い道路や木造住宅が密集した地区があります。
 ・また、幹線道路沿道は準防火地域に指定されています。
 ・多くの河川が流れ、良好な自然環境・親水環境を有していますが、過去に浸水に
 よる大きな被害を受けるなど、水害の危険性が非常に高い地域です。
 ・牛牧南門など、歴史を感じさせる史跡を有しています。

〈市民アンケート調査結果〉(瑞穂市第2次総合計画より)
 ・定住意向は8割以上が「定住したい」と回答しています。
 ・定住したい理由として、「買い物や外出が楽」「子育てしやすい」などが増えてい
 る一方で、「自然環境が豊か」「歴史・文化が感じられる」などが増えていま
 す。市平均と比較すると、「自然環境が豊か」「歴史・文化が感じられる」など
 が多く増えています。

市民アンケート調査結果
 ・今後の重点施策としては、下記の事項などを重視する意見が多くなっています。

医療・福祉・介護の充実
高齢者対策
道路・公園・下水道などの公共インフラ整備
防災対策

・現状の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

働く場や地域経済を支える工場・事業所が少ない
子育て・医療・福祉など、暮らしに欠かせない生活利便施設が少ない

・将来の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

道路、公園、上下水道などの整備を進め、良好な住環境を形成する

2. 地域づくりの主要課題

- 〔地域特有の主要課題〕**
 ・犀川周辺地区や十九条駅周辺地区における生活に身近な商業・サービス
 施設、医療・福祉施設等の維持・誘導・集積

地域特有の
主要課題

地域づくり
の方針

- ・住工混在における地域特性に応じた用途混在の解消や住環境と産業
 環境の調和
 ・牛牧南門などの歴史的建造物、田園地帯や犀川遊水地等の自然環境の
 保全・活用
- 〔都市全体の共有の主要課題〕**
 ・高齢化に配慮した都市基盤等の整備
 ・低未利用地や幹線道路沿道等の計画的な活用による商工業系土地利用の
 一層の充実
 ・まちの環境悪化を招く、空家や耕作放棄地の適正な管理・運用
 ・無秩序な市街地の拡大の抑制と多面的機能(食料生産・防災・景観形成)
 を考慮した農地の計画的保全
 ・都市間・拠点間をつなぐ利便性の高い幹線道路ネットワークの形成
 (未整備の都市計画道路、市道等の整備)
 ・都市施設(道路、公園・緑地、公共下水道等)や市街地整備(土地区画整理
 事業など)の整備推進、防災機能の充実による安全で良好な住宅地の形成
 ・生活道路や公共施設、学校等の周辺における歩行空間の整備等、安全な
 交通環境の形成
 ・公共交通(バス)の充実とまちづくり施策(集約型都市構造)との連携
 ・河川(犀川、五六川等)や犀川遊水地の自然環境の保全・活用(公園、散策路等)、治水対策の推進
 ・地域の自然環境、歴史・文化等と調和し、定住・交流を促す魅力的な都市
 景観の形成
 ・巨大地震や集中豪雨による甚大な被害に備えた、減災を考慮した地域
 づくり(災害に強い市街地整備、都市基盤の防災機能強化等)
 ・地域コミュニティの形成(世代間交流)、地域活動の活性化(防災活動、
 祭り等)、交流の場の形成

都市全体の
共有の
主要課題

3. 全体構想での代表的な位置付け

- ・地域生活拠点：犀川周辺地区、十九条駅周辺地区
- ・交流拠点(健康づくり、市民交流)：五六川親水公園
- ・交流拠点(歴史・文化交流)：牛牧南門
- ・産業集積軸：国道21号
- ・主要な防災活動拠点：牛牧グラウンド周辺、牛牧南門

10-2 地域づくりの方針

- 豊かな自然と調和し、安全で快適に暮らし続けられる地域づくり**
 ◆河川(犀川、五六川等)や犀川遊水地の自然環境、田園風景等と調和した計画的な
 土地利用を推進します。
 ◆犀川周辺地区や十九条駅周辺地区、幹線道路沿道等において、生活に身近な商業・
 サービス施設、医療・福祉施設等の集積を図るとともに、用途混在の解消や産業環
 境との調和、市街地の防災性の向上や治水対策の推進により、安全で快適な住環境
 の形成を図ります。
 ◆交通利便性の高さを活かし、国道21号などの幹線道路沿道において、都市活力の
 向上に資する産業(商業、工業、流通・業務等)の集積を図ります。

3. 地域別構想における修正事項 牛牧地域

・地域ごとの重点施策の進め方の追加 ⇒P82

〈地域重点施策の進め方〉

岐阜南部横断ハイウェイ・国道21号の整備

- ・岐阜南部横断ハイウェイ・国道21号の計画の検討・作成
- ・計画に基づく路線設計及び整備の実施

一般県道美江寺西結線の整備 市道西部環状線の整備

- ・一般県道美江寺西結線の未整備区間の整備に向けた関係機関（JR）との協議・検討
- ・一般県道美江寺西結線の未整備区間の整備の実施

市道西部環状線の計画の検討・作成

- ・市道西部環状線の計画に基づく路線設計・用地費収等及び整備の実施

公共交通機能の強化 地域生活拠点の形成 土地の有効・高度利用 市街化区域への編入検討

- ・公共交通ランドデザインの検討・作成
- ・公共交通事業者等とともに地域公共交通形成計画の検討・作成
- ・地域住民、公共交通事業者及び市等により、同計画に基づく当該地域での公共交通施策の検討・実施
- ・地域住民、事業者等とともに、十九条駅周辺等における地域生活拠点の形成に向けた方策の検討・計画作成
- ・十九条駅周辺等の計画の実現化に向けた都市計画法等に基づく手続きの推進
- ・犀川地区の市街化区域編入に向けた都市計画法等に基づく手続きの促進
- ・地域住民、事業者等による土地の有効・高度利用の実施

河川整備 河川環境（桜並木・緑地）の保全、親水空間の整備（散策路等）

- ・岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づく河川整備の促進
- ・河川の環境保全・活用の検討、方策等の作成・実施

公共下水道及び下水処理施設等（アクアパークみずほ）の整備

- ・公共下水道計画に基づく整備の事業化に向けた調整・検討及び整備の実施

犀川遊水地の自然環境の保全

- ・国、県、市、地域住民等とともに、犀川遊水地を中心とした自然環境の保全・再生に向けた協議・検討
- ・犀川遊水地の自然環境の保全の実施

上記の重点施策に加え、地域全般に関する施策についても、「個別計画の作成」、「関係者との協議・合意等」及び「計画に基づく整備の実施」を順次進めていき、地域づくりの方針及び都市全体の将来像の実現を目指します。

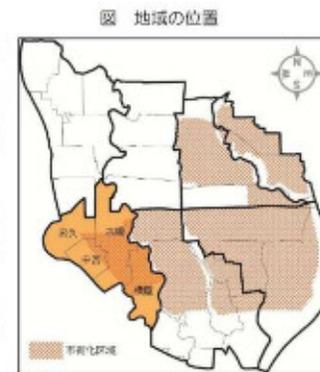
第11章 南地域のまちづくり構想

11-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

- ・南西部に位置し、呂久、古橋、中及び横原地区が該当します。この地区の一部が揖斐川の西側に位置していますが、その他は揖斐川に挟まれた位置にあり、北西部に宝江川が流れています。
- ・南部にJR東海道本線、南北に樽見鉄道が通っており、樽見鉄道の根原駅が位置しています。
- ・主要な道路としては、国道21号、一般県道首井中島美江寺大垣線・穂積集向線が通っています。また、岐阜南部横断ハイウェイ構想があるほか、市道西部環状線の整備が進んでいます。
- ・バスは、みずほバス（十九条・古橋線）が通っています。



〈面積及び人口〉

- ・平成27年の人口は、6,143人（市全体の11.3%）で、平成22年～27年の人口増減は、678人の増（12.4%増加）と、市平均増加率（4.6%）より増加率が高い地域です。
- ・平成27年の高齢者数は、948人（市全体の9.0%）で、高齢化率は15.4%と、市平均（19.4%）より低い地域です。
- ・平成27年の世帯数は、2,044世帯（市全体の9.7%）で、世帯人員は3.01人/世帯と、市平均（2.59人/世帯）より多くなっています。
- ・面積は約342haで、ほぼ全域が都市計画区域に指定されていますが、市街化区域の占める割合は、約38%と低くなっています。

〈土地利用等の現況〉

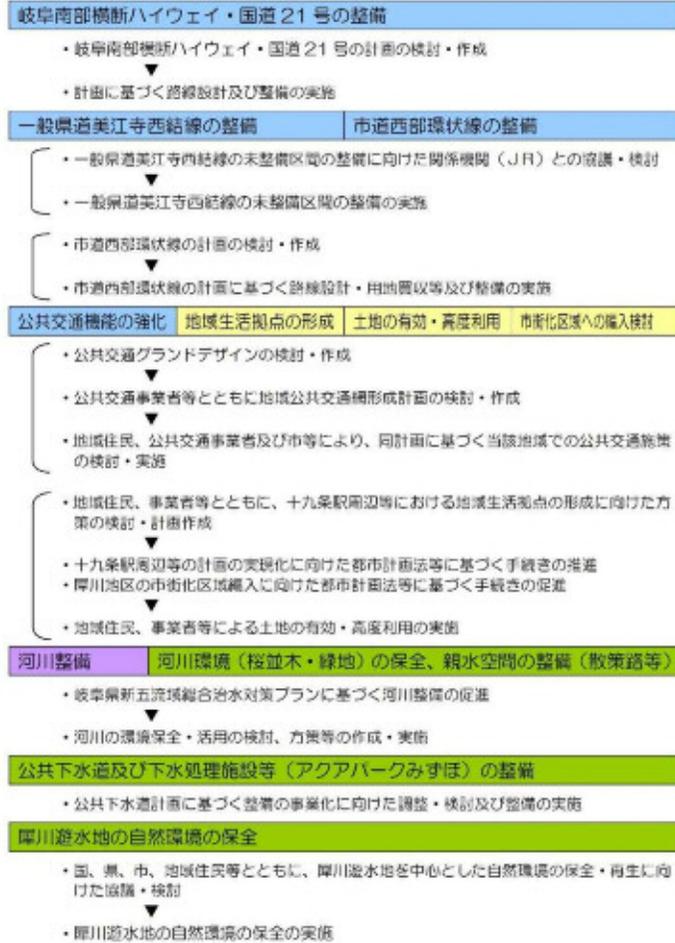
- ・樽見鉄道根原駅の西側では、住宅建設が進み、まとまった住宅地が形成されつ

地域重点施策の進め方

3. 地域別構想における修正事項 南地域

・各地域の人口等の修正・追加 ⇒P83

〈地域重点施策の進め方〉



上記の重点施策に加え、地域全般に関する施策についても、「個別計画の作成」、「関係者との協議・合意等」及び「計画に基づく整備の実施」を順次進めていき、地域づくりの方針及び都市全体の将来像の実現を目指します。

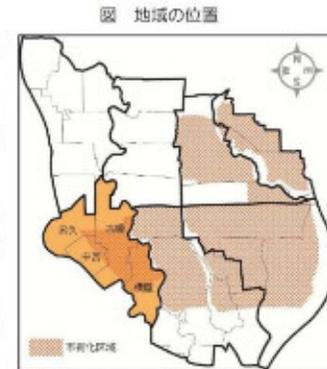
第11章 南地域のまちづくり構想

11-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

- ・南西部に位置し、呂久、古橋、中宮、及び横原地区が該当します。
- ・呂久地区の一部が揖斐川の西側に位置していますが、その他は揖斐川と犀川に挟まれた位置にあり、南西部に宝江川が流れています。
- ・南部にJR東海道本線、南北に樽見鉄道が通っており、樽見鉄道の根原駅が位置しています。
- ・主要な道路としては、国道21号、一般県道首井中島美江寺大垣線・穂積集向線が通っています。
- また、岐阜南部横断ハイウェイ構想があるほか、市道西部環状線の整備が進んでいます。



- ・バスは、みすほバス（十九条・古橋線）が通っています。

〈面積及び人口〉

- ・平成27年の人口は、6,143人（市全体の11.3%）で、平成22年～27年の人口増減は、678人の増（12.4%増加）と、市平均増加率（4.6%）より増加率が高い地域です。
- ・平成27年の高齢者数は、948人（市全体の9.0%）で、高齢化率は15.4%と、市平均（19.4%）より低い地域です。
- ・平成27年の世帯数は、2,044世帯（市全体の9.7%）で、世帯人員は3.01人/世帯と、市平均（2.59人/世帯）より多くなっています。
- ・面積は約342haで、ほぼ全域が都市計画区域に指定されていますが、市街化区域の占める割合は、約38%と低くなっています。

〈土地利用等の現況〉

- ・樽見鉄道根原駅の西側では、住宅建設が進み、まとまった住宅地が形成されつ

人口等の
修正・追加

3. 地域別構想における修正事項 南地域

- 市民アンケート調査結果の再確認及び表現・内容等の修正
- 地域づくりの主要課題・地域づくりの方針を分かりやすく ⇒P84,85

つあります。

- 北型の幹線道路沿道に小規模な商業施設が点在しています。
- 揖斐川の西側に位置する呂久地区には、中山道が通り、小簾紅圍が位置するなど、歴史を感じさせる景観が残る集落地が形成されています。
- 市街化調整区域には、優良農地が広がり、自然環境が豊かです。

〈都市施設等の現況〉

- 都市計画道路は1路線の整備が完了しています。都市計画公園はなく、小簾紅圍があります。
- 下水道は、呂久地区で農業集落排水処理事業により整備されていますが、その他の地区は未整備で、公共下水道による整備が計画されています。
- 主な公共施設としては、南小学校、南中学校、南ふれあい広場等が位置しています。
- 横屋駅南側の地域(市街化区域内)においては、計画的な市街化が進んでおらず、低密度な地域となっています。また、一部に狭あい道路や木造住宅が密集した地区があります。
- 多くの河川が流れ、良好な自然環境・親水環境を有していますが、過去に浸水による大きな被害を受けるなど、水害の危険性が非常に高い地域です。

〈市民アンケート調査結果〉(瑞穂市第2次総合計画より)

- 定住意向は74.8%です。
- 定住したい理由では、「住み慣れた環境がよい」「自然が多くまちの環境が良い」が最も多く、次に「子育てしやすい環境が充実している」という意見が多くなっています。
- 定住したくない理由では、「交通手段が不便」「子育てしやすい環境が充実していない」という意見が多くなっています。

今後の重点施策としては、下記の事項などを重視する意見が多くなっています。

医療・福祉・介護の充実
高齢者対策
公共交通(鉄道・バスなど)の充実
道路・公園・下水道などの公共インフラ整備

- 現状の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。
- 働く場や地域経済を支える工場・事業所が少ない
- 買い物や食事、娯楽を楽しめる場が少ない
- 従来の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。
- 道路、公園、上下水道などの整備を進め、良好な住環境を形成する
- 空地や未利用地など有効利用を促進する
- 幹線道路沿いの商業機能等の立地を促す

2. 地域づくりの主要課題

【地域特有の主要課題】

• 国道21号沿道における生活に身近な商業・サービス施設、医療・福祉

施設等の維持・誘導・集積
• 国道21号と市道西御環状線の早期ネットワーク化に向けた整備
• 横屋駅西側へのアクセスの向上
• 小簾紅圍など、中山道の往時をしのばせる集落環境(街並み)の保全・活用

【都市全体の共有の主要課題】

• 高齢化に配慮した都市基盤等の整備
• 低未利用地や幹線道路沿道等の計画的な活用(土地区画整理事業など)による超工業系土地利用の誘導・集積
• まちの環境悪化を招く、空き家や耕作放棄地の適正な管理・運用
• 無秩序な市街地の拡大の抑制と多面的機能(食料生産・防災・景観形成)を考慮した農地の計画的保全
• 都市間・拠点間をつなぐ利便性の高い幹線道路ネットワークの形成(未整備の市道等の整備)
• 都市施設(道路、公園・緑地、公共下水道等)や市街地整備(土地区画整理事業など)の整備推進、防災機能の充実による住宅主体の良好な市街地環境の形成
• 生活道路や駅、公共施設、学校等の周辺における歩行空間の整備等、安全な交通環境の形成
• 公共交通(バス)の充実とまちづくり施策(集約型都市構造)との連携
• 河川の自然・親水環境の保全・活用(公園、散策路等)、治水対策の推進
• 地域の自然環境、歴史・文化等と調和し、定住・交流を促す魅力的な都市景観の形成
• 巨大地震や集中豪雨による甚大な被害に備えた、減災を考慮した地域づくり(災害に強い市街地整備、都市基盤の防災機能強化等)
• 地域コミュニティの形成(世代間交流)、地域活動の活性化(防災活動、祭り等)、交流の場の形成

■ 体構想での代表的な位置付け

地域生活拠点：国道21号沿道周辺地区
 交流拠点(健康づくり、市民交流)：南ふれあい広場
 交流拠点(歴史・文化交流)：小簾紅圍
 産業集積軸：国道21号

11-2 地域づくりの方針

活力ある産業集積を備え、歴史・自然と調和した新たな魅力を生み出す地域づくり

- ◆ 都市間・拠点間の連絡を強化する市道西御環状線の整備を推進するとともに、国道21号沿道では、周辺環境との調和に配慮しながら、商業機能・住居機能等を形成する土地利用を検討します。
- ◆ 公共交通を活かすため、横屋駅周辺を中心とした低未利用地の計画的な活用により、良好な都市基盤を備えた住宅地の形成を図ります。
- ◆ 小簾紅圍など中山道の往時をしのばせる歴史的資源、河川(揖斐川、厚川)や農地の自然環境の保全・活用を図ります。

地域特有の主要課題

市民アンケート調査結果

都市全体の共有の主要課題

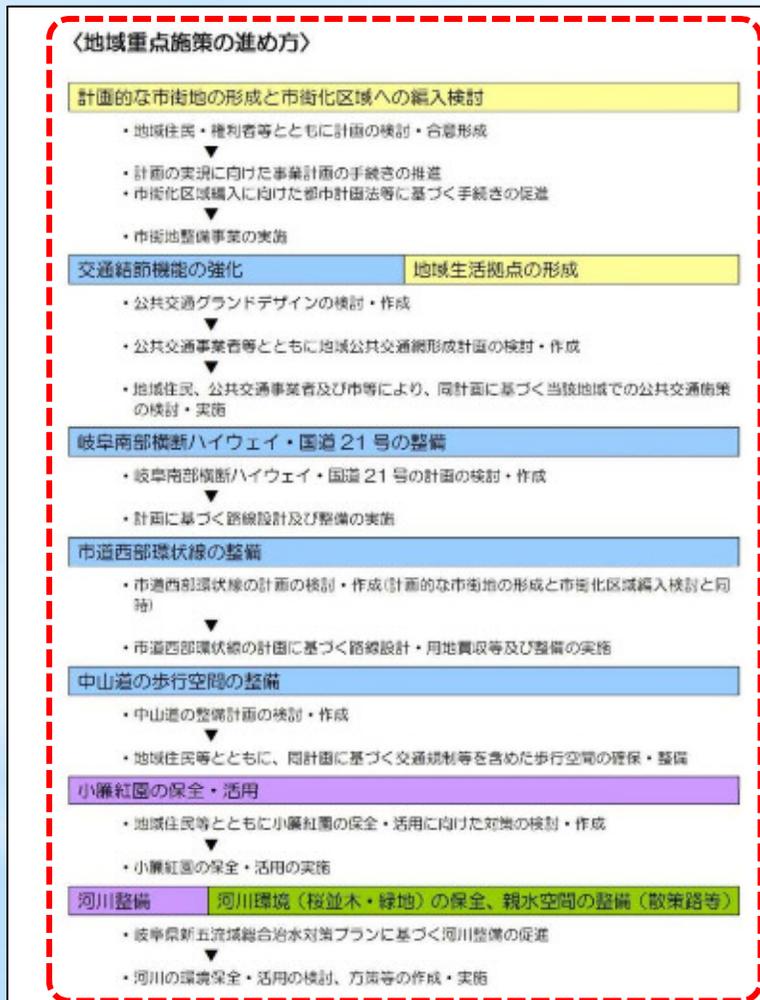
地域づくりの方針

- 84 -

- 85 -

3. 地域別構想における修正事項 南地域

• 地域ごとの重点施策の進め方の追加 ⇒P88



地域重点施策の進め方

上記の重点施策に加え、地域全般に関する施策についても、「個別計画の作成」、「関係者との協議・合意等」及び「計画に基づく整備の実施」を順次進めていき、地域づくりの方針及び都市全体の将来像の実現を目指します。

第12章 中地域のまちづくり構想

12-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

北部に位置し、豊里、美江寺、十及十八条地区が該当します。と五ヶ川に挟まれた位置にあり、柿見鉄道が通っており、美江寺駅が位置しています。

- 主要な道路としては、主要地方道岐阜県南大野線(バイパス含む)、一般県道善井中島美江寺大垣線・美江寺西線が通っています。また、主要地方道岐阜県南大野線/バイパスは、栗海環状自動車道(仮称)大野・柿戸ICへアクセスする路線として、計画・整備が進められています。
- バスは、岐阜バス(美江寺・穂積線)、みずほバス(木田・善業線)が通っています。

図 地域の位置



〈面積及び人口〉

- 平成27年の人口は、3,275人(市全体の6.0%)で、市内で最も人口が少なく、平成22年~27年の人口増減は、112人の減(3.3%減少)となっています。
- 平成27年の高齢者数は、986人(市全体の9.3%)で、高齢化率は30.1%と、市平均(19.4%)より高い地域です。
- 平成27年の世帯数は、1,093世帯(市全体の5.2%)で、市内で最も世帯数の少ない地域ですが、世帯人員は3.00人/世帯と、市平均(2.59人/世帯)より高くなっています。
- 面積は約374haで、ほぼ全域が準都市計画区域です。

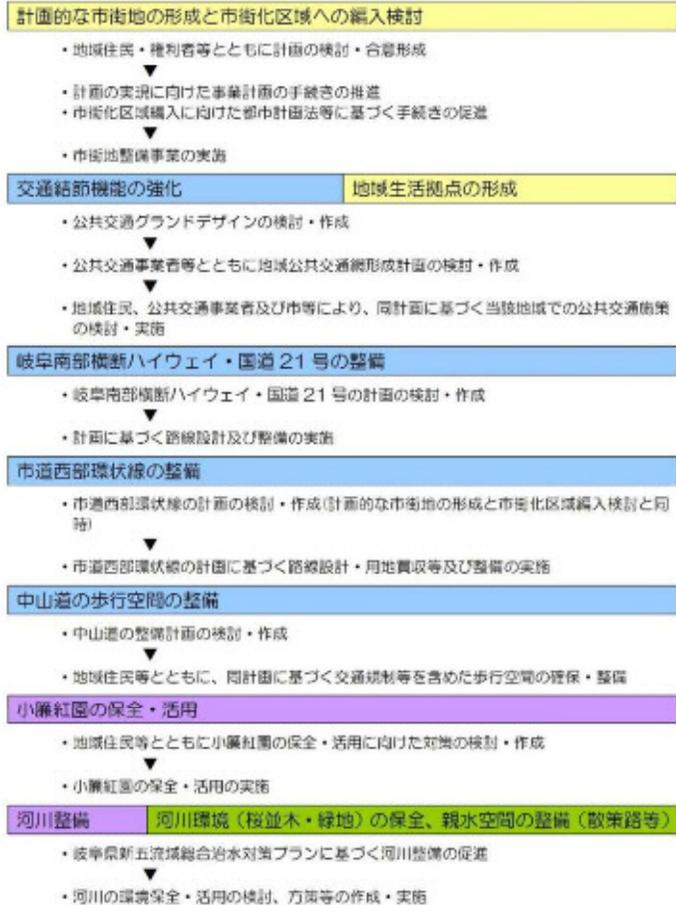
〈土地利用等の現況〉

- 扇川と柿見鉄道の間は、まとまった集落地となっており、周囲には、柿畑などの

3. 地域別構想における修正事項 中地域

• 各地域の人口等の修正・追加 ⇒P89

〈地域重点施策の進め方〉



上記の重点施策に加え、地域全般に関する施策についても、「個別計画の作成」、「関係者との協議・合意等」及び「計画に基づく整備の実施」を順次進めていき、地域づくりの方針及び都市全体の将来像の実現を目指します。

第12章 中地域のまちづくり構想

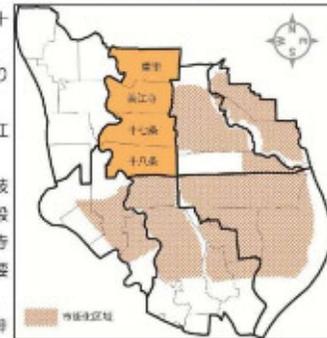
12-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

- ・市北部に位置し、豊里、美江寺、十七条及び十八条地区が該当します。
- ・犀川と五ヶ川に挟まれた位置にあります。
- ・鉄道は樽見鉄道が通っており、美江寺駅が位置しています。
- ・主要な道路としては、主要地方道岐阜県南大野線(バイパス含む)、一般県道善井中島美江寺大垣線・美江寺西線が通っています。また、主要地方道岐阜県南大野線/バイパスは、栗海環状自動車道(仮称)大野・神戸ICへアクセスする路線として、計画・整備が進められています。
- ・バスは、岐阜バス(美江寺・穂積線)、みずほバス(木田・善業線)が通っています。

図 地域の位置



人口等の
修正・追加

〈面積及び人口〉

- ・平成27年の人口は、3,275人(市全体の6.0%)で、市内で最も人口が少なく、平成22年~27年の人口増減は、112人の減(3.3%減少)となっています。
- ・平成27年の高齢者数は、986人(市全体の9.3%)で、高齢化率は30.1%と、市平均(19.4%)より高い地域です。
- ・平成27年の世帯数は、1,093世帯(市全体の5.2%)で、市内で最も世帯数の少ない地域ですが、世帯人員は3.00人/世帯と、市平均(2.59人/世帯)より高くなっています。
- ・面積は約374haで、ほぼ全域が準都市計画区域です。

〈土地利用等の現況〉

- ・犀川と樽見鉄道の間は、まとまった集落地となっており、周囲には、柿畑などの

3. 地域別構想における修正事項 中地域

- 市民アンケート調査結果の再確認及び表現・内容等の修正
- 地域づくりの主要課題・地域づくりの方針を分かりやすく

⇒P90,91

果樹園や花きの圃場が広がっています。また、樽見鉄道の東側は、田園地帯が広がっています。田園地帯の一部では、住宅建設がみられますが、土地利用の変化は少なく、自然環境が豊かです。

- 田園地帯の南部には、工業導入地域として大規模な工場や運輸倉庫施設が集積していますが、商業施設は少なく、集落地の中に点在する程度です。
- 美江寺地区には、古くは美江寺宿が置かれ、歴史を感じさせる景観が残っています。

〈都市施設等の現況〉

- 公園としては犀川河川公園が整備されています。
- 下水道は未整備で、特定環境保全公共下水道による整備が計画されています。
- 主な公共施設としては、中小学校、中ふれあい広場等が位置しています。
- 一部に狭あい道路や木造住宅が密集した地区があります。
- 多くの河川が流れ、良好な自然環境・親水環境を有しています。

〈市民アンケート調査結果〉(瑞穂市第2次総合計画より)

- 定住意向は86.1%です。
- 定住したい理由では、「住みやすい環境がよい」や「災害や犯罪が少なく安心できる」という意見が多くなっています。
- 定住したくない理由では、「住みやすい環境が実現していない」という意見が多くなっています。

今後の重点施策としては、下記の事項などを重視する意見が多くなっています。

医療・福祉・介護の充実
道路・公園・下水道などの公共インフラ整備
公共交通（鉄道・バスなど）の充実
農業の振興

- 現状の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

働く場や地域経済を支える工場・事業所が少ない
買い物や食事、娯楽を楽しめる場が少ない

- 将来の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

道路、公園、上下水道などの整備を進め、良好な住環境を形成する
空地や未利用地など有効利用を促進する
幹線道路沿いの商業機能等の立地を促す
大規模な区画での開発を進める

2. 地域づくりの主要課題

【地域特有の主要課題】

人口減少対策の強化(人口の維持・確保、産業の誘致等による働く場の創出)

地域特有の主要課題

- 高齢化に配慮した都市基盤等の整備
- 幹線道路沿道などにおける生活に身近な商業・サービス施設、医療・福祉施設等の維持・誘導・集積
- 美江寺宿など、中山道の往時をしのばせる集落環境(街並み)、河川等の自然環境の保全・活用
- 地域の実情を踏まえた土地利用規制等の運用・見直し

【都市全体の共有の主要課題】

- 柿畑などの果樹園や花き生産圃場、水田等の計画的な保全・整備による農業の振興
- まちの環境悪化を招く、空き家や耕作放棄地の適正な管理・運用
- 都市間・拠点間、東海環状自動車道(仮称)大野・神戸ICをつなぐ利便性の高い幹線道路ネットワークの形成(未整備の県道、市道等の整備)
- 地域施設(道路、公園・緑地、特定環境保全公共下水道等)の整備推進、防災機能の充実による良好な住環境の形成
- 生活道路や駅、公共施設、学校等の周辺における歩行空間の整備等、安全な交通環境の形成
- 公共交通(バス)の充実とまちづくり施策(集約型都市構造)との連携
- 河川の自然・親水環境の保全・活用(公園、散策路等)、治水対策の推進
- 地域の自然環境、歴史・文化等と調和し、定住・交流を促す魅力的な都市景観の形成
- 巨大地震や集中豪雨による甚大な被害に備えた、減災を考慮した地域づくり(災害に強い市街地整備、都市基盤の防災機能強化等)
- 地域コミュニティの形成(世代間交流)、地域活動の活性化(防災活動、祭り等)、交流の場の形成

3. 全体構想での代表的な位置付け

- 地域生活拠点: 美南庁舎周辺地区
- 交流拠点(健康づくり、市民交流): 中ふれあい広場
- 交流拠点(歴史・文化交流): 美江寺宿
- 産業集積軸: 主要地方道岐阜大野線バイパス

12-2 地域づくりの方針

農・住・工の機能調和と歴史・文化の活用による、個性豊かな地域づくり

- ◆生活基盤(道路、下水道等)の整備により住環境の改善を図るとともに、幹線道路沿道などにおいて、生活に身近な商業・サービス施設、医療・福祉施設等の集積を促し、生活利便性の向上を図ります。
- ◆農地の保全による農業の振興と一団の工場の操業環境を維持するため、必要な都市計画制度の検討を行います。
- ◆美江寺宿などの歴史的景観や地域資源の保全・活用により、観光・交流機能を強化し、地域の活性化を図ります。

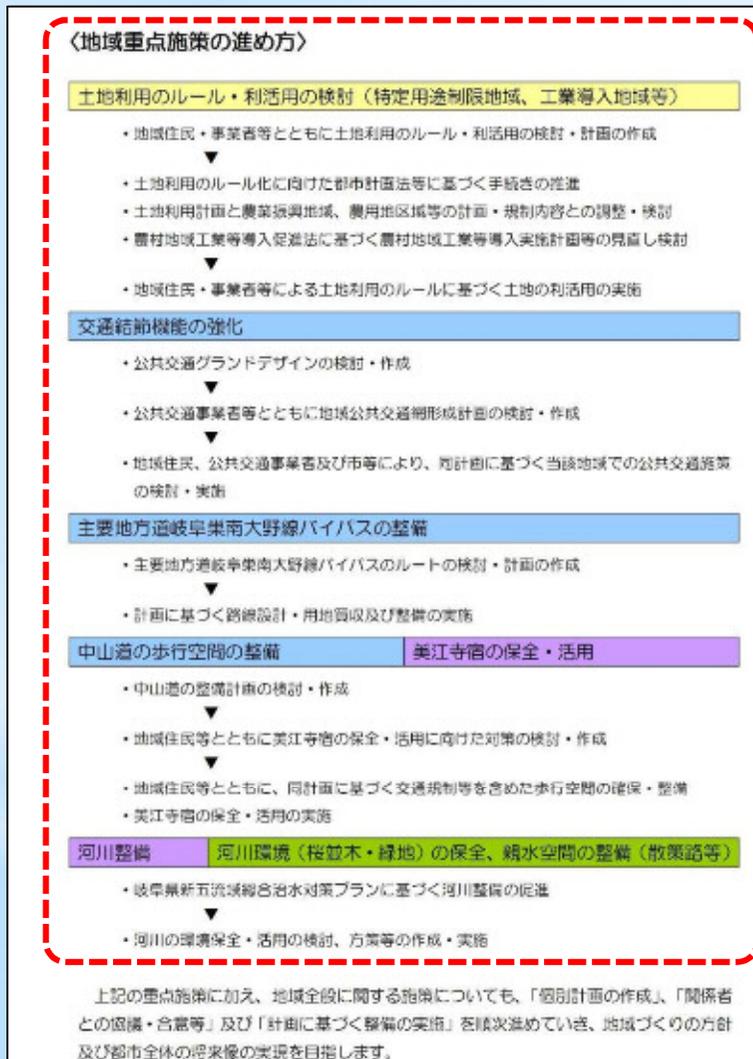
地域づくりの方針

- 90 -

- 91 -

3. 地域別構想における修正事項 中地域

• 地域ごとの重点施策の進め方の追加 ⇒P94



地域重点施策の進め方

第13章 西地域のまちづくり構想

13-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

市北西部に位置し、七経、石巻、唐桑、田之上、宮田及び大月が該当します。

川・揖斐川と犀川に挟まれたにあり、中部に長瀬寺川が流れています。

・鉄道はなく、主要な道路としては、主要地方道岐阜県南大野線、一般県道御井中島美江寺大垣線・田之上屋井線が通っています。また、地域の北端では東海環状自動車道が計画されており、(仮称)大野・神戸ICにアクセスする主要地方道岐阜県南大野線バイパスの整備が進んでいます。

・バスは、岐阜バス（美江寺・穂積線）、みずほバス（本田・唐桑線、十九条・古橋線）が通っています。

〈面積及び人口〉

・平成27年の人口は、4,202人（市全体の7.7%）で、平成22年～27年の人口増減は、209人の減（4.7%減少）となっています。

・平成27年の高齢者数は、881人（市全体の8.4%）で、高齢化率は21.0%と、市平均（19.4%）より高い地域です。

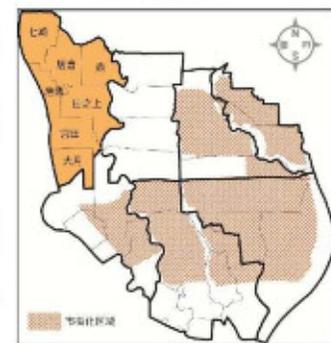
・平成27年の世帯数は、1,393世帯（市全体の6.6%）で、世帯人員は3.02人/世帯と、市平均（2.59人/世帯）より多くなっています。

・面積は約463haで、ほぼ全域が準都市計画区域です。

〈土地利用等の現況〉

・富有柿の発祥の地で、柿畑などの果樹園や花さの農地、田圃地帯が広がっており、その中に集落地が点在しています。

図 地域の位置



3. 地域別構想における修正事項 西地域

・各地域の人口等の修正・追加 ⇒P95

〈地域重点施策の進め方〉

土地利用のルール・利活用の検討（特定用途制限地域、工業導入地域等）

- ・地域住民・事業者等とともに土地利用のルール・利活用の検討・計画の作成
- ▼
- ・土地利用のルール化に向けた都市計画法等に基づく手続きの推進
- ・土地利用計画と農業振興地域、農用地区域等の計画・規制内容との調整・検討
- ・農村地域工業等導入促進法に基づく農村地域工業等導入実施計画等の見直し検討
- ▼
- ・地域住民・事業者等による土地利用のルールに基づく土地の利活用の実施

交通結節機能の強化

- ・公共交通グランドデザインの検討・作成
- ▼
- ・公共交通事業者等とともに地域公共交通網形成計画の検討・作成
- ▼
- ・地域住民、公共交通事業者及び市等により、河計画に基づく当該地域での公共交通施策の検討・実施

主要地方道岐阜県南大野線バイパスの整備

- ・主要地方道岐阜県南大野線バイパスのルートの検討・計画の作成
- ▼
- ・計画に基づく路線設計・用地買収及び整備の実施

中山道の歩行空間の整備

- ・中山道の整備計画の検討・作成
- ▼
- ・地域住民等とともに美江寺宿の保全・活用に向けた対策の検討・作成
- ▼
- ・地域住民等とともに、河計画に基づく交通規制等を含めた歩行空間の確保・整備
- ・美江寺宿の保全・活用の実施

美江寺宿の保全・活用

河川整備

河川環境（桜並木・緑地）の保全、親水空間の整備（散策路等）

- ・岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づく河川整備の促進
- ▼
- ・河川の環境保全・活用の検討、方策等の作成・実施

上記の重点施策に加え、地域全般に関する施策についても、「個別計画の作成」、「関係者との協議・合意等」及び「計画に基づく整備の実施」を順次進めていき、地域づくりの方針及び都市全体の将来像の実現を目指します。

第13章 西地域のまちづくり構想

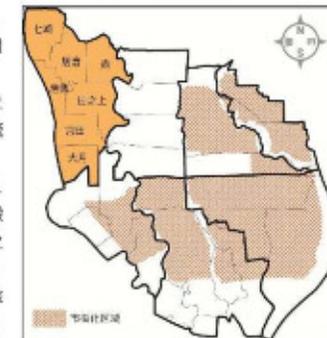
13-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

- ・市北西部に位置し、七経、苅巻、森、唐薬、田之上、宮田及び大月地区が該当します。
- ・根尾川・揖斐川と犀川に挟まれた位置にあり、中部に長瀬寺川が流れています。
- ・鉄道はなく、主要な道路としては、主要地方道岐阜県南大野線、一般県道御井中島美江寺大垣線・田之上屋井線が通っています。また、地域の北端では東海環状自動車道が計画されており、(仮称)大野・神戸ICにアクセスする主要地方道岐阜県南大野線バイパスの整備が進んでいます。
- ・バスは、岐阜バス（美江寺・穂積線）、みずほバス（木田・唐薬線、十九条・古橋線）が通っています。

図 地域の位置



〈面積及び人口〉

- ・平成27年の人口は、4,202人（市全体の7.7%）で、平成22年～27年の人口増減は、209人の減（4.7%減少）となっています。
- ・平成27年の高齢者数は、881人（市全体の8.4%）で、高齢化率は21.0%と、市平均（19.4%）より高い地域です。
- ・平成27年の世帯数は、1,393世帯（市全体の6.6%）で、世帯人員は3.02人/世帯と、市平均（2.59人/世帯）より多くなっています。
- ・面積は約463haで、ほぼ全域が準都市計画区域です。

〈土地利用等の現況〉

- ・富有柿の発祥の地で、柿畑などの果樹園や花さの農地、田圃地帯が広がっており、その中に集落地が点在しています。

人口等の修正・追加

3. 地域別構想における修正事項 西地域

- 市民アンケート調査結果の再確認及び表現・内容等の修正
- 地域づくりの主要課題・地域づくりの方針を分かりやすく

⇒P96,97

• 主要地方道岐阜東大野線と一般県道善井中島美江寺大垣線の交差点周辺に、商業施設が集積しています。また、工業導入地域として田園地帯の中に工場が点在しています。

【都市施設等の現況】

- 都市計画道路は、東海環状自動車道の1路線が計画されており、公園としては根尾川河川公園、長護寺川水辺公園などが整備されています。
- 下水道は、特定環境保全公共下水道が整備されています。
- 主な公共施設としては、集南庁舎、集南公民館、老人福祉センター、西部複合センター等、多数の施設が位置し、西部の拠点としての機能を有しています。そのほか、西小學校、西ふれあい広場が位置しています。
- 一部に狭い道路や木造住宅が密集した地区があります。
- 多くの河川が流れ、良好な自然環境・親水環境を有しています。
- 伊久良河宮跡など、歴史を感じさせる史跡を有しています。

【市民アンケート調査結果】(瑞穂市第2次総合計画より)

- 定住意向は74.6%で、市内で定住したい理由では、「住みやすい環境がよい」や「災害や犯罪が少ない」が最も多かった。定住したくない理由では、「生活コストが高い」が最も多かった。

今後の重点施策としては、下記の事項などを重視する意見が多くなっています。

医療・福祉・介護の充実
高齢者対策
公共交通（鉄道・バスなど）の充実
農業の振興

現状の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

働く場や地域経済を支える工場・事業所が少ない
子育て・医療・福祉など、暮らしに欠かせない生活利便施設が少ない
買い物や食事、娯楽を楽しむ場が少ない
空地や未利用地が多い

将来の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

空地や未利用地などを有効利用を促進する
優良な農地の構造的な整備や耕作放棄地の解消を図る

2. 地域づくりの主要課題

【地域特有の主要課題】

• 人口減少対策の強化 (人口の維持・確保、産業の誘致等による働く場の創出)
• 高齢化に配慮した都市基盤等の整備
• 集南庁舎周辺や幹線道路沿道等における生活に身近な商業・サービス

施設、医療・福祉施設等の維持・誘導・集積、交通結節点としての機能向上

- 東海環状自動車道（仮称）大野・神戸ICに近接する立地条件を活用した計画的な低未利用地の活用、自然環境に配慮した西部の拠点にふさわしい商工業系土地利用の誘導・集積
- 伊久良河宮跡や富永稲荷の地としての歴史的資産の保全・活用
- 地域の実情を踏まえた土地利用規制等の運用・見直し

【都市全体の共有の主要課題】

- 柿畑などの果樹園や花き生産農地、水田等の計画的な保全・整備による農業の振興
- まちの環境悪化を招く、空き家や耕作放棄地の適正な管理・運用
- 都市間・拠点間、東海環状自動車道（仮称）大野・神戸ICをつなぐ利便性の高い幹線道路ネットワークの形成（未整備の県道、市道等の整備）
- 地域施設（生活道路、公園・緑地）の整備推進、防災機能の充実による良好な住環境の形成
- 生活道路や公共施設、学校等の周辺における歩行空間の整備等、安全な交通環境の形成
- 公共交通（バス）の充実とまちづくり施策（集約型都市構造）との連携
- 河川の自然・親水環境の保全・活用（公園、散策路等）、治水対策の推進
- 地域の自然環境、歴史・文化等を機軸とし、定住・交流を促す魅力的な都市景観の形成
- 巨大地震や集中豪雨による甚大な被害に備えた、減災を考慮した地域づくり（災害に強い市街地整備、都市基盤の防災機能強化等）
- 地域コミュニティの形成（世代間交流）、地域活動の活性化（防災活動、祭り等）、交流の場の形成

3. 全体構想での代表的な位置付け

- 地域生活拠点：集南庁舎周辺地区
- 交流拠点（健康づくり、市民交流）：西ふれあい広場
- 産業集積軸：主要地方道岐阜東大野線バイパス
- 主要な防災活動拠点：集南庁舎

13-2 地域づくりの方針

交通利便性の向上を活かした都市機能強化と、特色ある農村環境・自然環境の共生による、活力ある地域づくり

- ◆ 将来、東海環状自動車道（仮称）大野・神戸ICに近接するという地域性とアクセス道路である主要地方道岐阜東大野線バイパスの整備に伴う交通条件を活かし、産業の集積を図ります。
- ◆ 河川（根尾川、根尾川、岸川等）の自然環境、柿畑などの果樹園や花き農地、水田等の農村風景、伊久良河宮跡などの歴史資産等を保全・活用し、地域の魅力向上を図ります。
- ◆ 集南庁舎周辺において、公共施設や生活に身近な商業・サービス施設、医療・福祉施設等の集積を図り、西部の拠点としてふさわしい地域生活拠点の形成を図ります。

市民アンケート調査結果

地域特有の主要課題

都市全体の共有の主要課題

地域づくりの方針

- 96 -

- 97 -

3. 地域別構想における修正事項 西地域

・地域ごとの重点施策の進め方の追加 ⇒P100

